■編集、発行／石狩市企画経済部秘書広報課　〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 Tel.0133-72-3145 Fax.0133-74-5581
【HP】http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/　【携帯電話用HP】http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/mobile/　【Eメール】hisyokoho@city.ishikari.hokkaido.jp
■制作／株式会社キューブコーポレーション
■印刷、製本／株式会社アイワード
この広報誌は再生紙を使用しています。印刷インキは、植物油インキを使用しています。

広告

◎閑話の種 1

スキタイの羊

皆さま、明けましておめでとうございます。新年にあたり、今年の干支（えと）である未（ひつじ）にまつわる話からはじめましょうか。

西洋で信じられていた「スキタイの羊」というのは木になる羊のことです。小さな羊が木の実のように枝につき、周囲の草を食べて成長するというもの。不思議な話ですが、どうやら綿（わた）を知らなかった西洋に、綿花が「植物に生える羊毛」として伝わり、これが「羊のなる木」と誤解され、さらにいろんな尾ひれが付いていったようです。ヨーロッパに木綿が伝わるのが遅かったのでこのような伝説が生まれたと考えられます。動物が植物に生えるという発想は、アラブからヨーロッパにかけて多く、中には人間がなる木もありました。面白いのは人間がなる木は「ワクワク」という島にあったとされていること。ワクワク（ワコク）は、「倭国」つまり日本のことだと考えられます。いつの間にか人間がなる木の原産地にされてびっくりですが、伝説の世界では「黄金の国ジパング」だけではなかったのです。（K）

出典/尾形ほか1994『スキタイの子羊』より